

第7回 阿智村学校のあり方検討委員会 会議録

○ 会議日時 令和7年4月11日（金）午後4時

○ 会議場所 コミュニティ館 2階ホール

○ 出席者 委員長：岡庭 潤 副委員長：伏木 久始 代田 昭久
委員：熊谷 和洋 増田亜由美 熊谷 節子 井原 毅
近藤 忠雄 田島 佳世 熊谷 安倫 熊谷 直哉
上條 雪絵 原 耕 小笠原和司 白澤 裕次
井原穂奈美 佐々木哲志 櫻井 朱

【教育委員会 事務局】

教育長：黒柳 紀春 教育次長：實原 信夫 学校教育係：村田 浩一
学校教育専門主事：松澤 徹(全体進行) 川上 清宏 佐々木 豊
英語教育専門員：両角 明浩

(欠席 関 雅夫委員, 逸見 貴子委員)

1 開会の言葉 (教育次長)

2 教育長あいさつ

「学校のあり方検討委員会」も2年目に入りました。委員の皆さまには本年度もよろしく願いいたします。

さて、2月の「中間まとめ」では大変お世話になりました。また、3月下旬から4月上旬にかけての地区懇談会では、委員自らが各地区の会場に出向いて説明をしていただき誠にありがとうございました。ご苦労さまでしたが、各地区の皆さんの考え方や思い、会場の空気を知ることができ、委員の皆さんにとっても良い経験になったのではないかと思います。

私は十数年前に県の高校教育課に勤務しており、現在の業務と同じような高校再編計画の地域説明会を県下各地で開催しておりました。飯田 OIDE 長姫高校統合の直接担当でしたが、住民への説明会は当然教育委員会が行うものであり、地域協議会の委員自らが出席して説明いただくなど発想すらありませんでした。

今回、このアイデアは伏木副委員長によるものです。ありがとうございました。各地区の参加者は会地12人、伍和10人、智里東7人、智里西10人、清内路28人、浪合23人と、全村で90人の出席がございました。また、3月27日から始めているパブリック・コメントは、今日現在回答者5人となっております。

本日のあり方検討委員会は、地区懇談会とパブリック・コメントにおける質問

や意見、要望等のまとめと確認、本年度の委員会活動の推進日程等の審議となっております。

最終答申策定に向けた2年目の初会合ですので、教育委員会事務局として本年度一年間の検討に対するお願いを2点あげさせていただきます。

1点は、今回の地区懇談会とパブリック・コメント、また、本年秋口に開催予定の第2回地区懇談会とパブリック・コメント等に寄せられた質問や疑問、ご意見、ご要望等への回答及び返答をぜひ答申に盛り込んでいただきたいことです。住民の皆さんの声にきちんと答えることが信頼や理解を深めていただくこととなります。また、住民の皆さんの支持や賛同に繋がるものと思います。

2点目は、答申がどのような内容であれ、今後の阿智村の学校のあり方の方針や方向性が明確に提示されており、教育委員会が容易にその趣旨や内容を理解でき、その後の具体的施策や取り組みが速やかにできる内容にしていただきたいということです。

急激な少子化が進む中、今から4年後の令和11年度には20人台の児童が小学校に入学してまいります。その時点で現在の学校状況が継続されているとすれば、教育委員会は年を追うごとに少子化への待ったなしの対応を迫られることとなります。教育委員会としてあり方委員会に諮問をお願いしたわけですから、答申は基本的に尊重しなければならないと考えております。玉虫色でどっちつかずの答申では、教育委員会は再度議論を繰り返すことになってしまいます。児童生徒や保護者のことを考えるとそれだけは避けたいと考えております。答申手交後、教育委員会はスピード感を持って対応に取り組んでまいりますので、その点をご理解いただき、来年3月の最終答申に向けて、あり方委員の皆さんのお力をお貸しいただきたいと存じます。

それでは、本日の審議よろしくお願いいたします。

3 委員長あいさつ

こんにちは。委員長をさせていただきます。2年目に入りました。本年度もまたよろしくお願いいたします。また副委員長にご就任いただいております伏木先生代田先生、1年間お願いします。

ただいま教育長からご挨拶がありましたとおり、少子化が予想以上に進んでいるという状況は、皆さん共有されていると思います。2年目に入り、ある程度の答申を出さないと間に合わないという危機感を抱いています。多少タイトな議論になるかもしれませんが、この1年間よろしくお願いいたします。

その前に皆さんの団結力といったものを作るということで、今日は懇親会もございまして、そこは和やかにお願いしたいと思います。

4 協議

(1) 第1回地区懇談会の情報共有

①A 委員

会地地区の懇談会に参加させていただいた A です。

第1回目の地区懇談会のためどうなるのかなと不安に思いながら来たのですが、人数が少なかったことが本当にびっくりしました。いろいろな方法で周知を教育委員会でもしてくださったので、皆さん知らないわけではなかったとは思いますが、議員さんとか他の地区の委員さんがいらして、純粋にこの会地地区で興味があって来てくださった方というのはさらに少なかったので残念だと思いました。

ただ、意見交換の時間になったら意見がたくさん出ました。質問のほか、こういうところがいいからもっと進めてほしいというものもありましたし、元々書いているとおりに皆さんいろんなご意見をくださったのが良かったと思いました。割合肯定的な意見があったと思います。

その中でもやっぱりスクールコミュニティ構想が皆さんになかなか伝わりにくかったこと改めて感じました。住民の皆さんにお伝えしていく中で、スクールコミュニティ構想を、コミュニティ・スクールと違い、構想とはその考え方だという概念だと説明していたのですが、具体的に何なのかということがどうしてもイメージしにくいことがわかったので、もうちょっと皆さんに理解してもらえるような、村で今やっている具体的なことや、村の皆さんがわかりやすい例を上げていかなければいけないと感じました。

②B 委員

会地地区に出席いたしました B です。

今 A さんの方からご説明ありましたように私も出席人数が期待していたより少なく、一般の住民の方が少なかったというのが第1印象です。参加いただいた方々から批判的な発言が出るのではないかと危惧していたのですが、批判的な発言はほとんどなく、報告した内容に対しての質問や、あるいはもっと早くしたらどうかという意見があったと感じました。まだ身近に自分たちのこととしていないのが本音なのかと感じて、初めての懇談会を終了することができました。

③C 委員

伍和地区を担当しました C です。

参加者が10名と少なかった印象があるのと、参加された方が小学校の親世代が少なく、年配の方がとても関心を持ってきてくださったという形でした。私にも小学生の子がいるので、なかなか厳しい時間だったという印象を持ち

ましたので、また今後の課題と思います。

参加者からのご意見としては、言葉の捉え方が、こちらが思っていることと、住民の方々と違いが出てしまうので、噛み砕いてわかりやすく説明できるようにしていかなければと思いました。校長先生が来てくださって、先生は上伊那の方なのですが、いろいろご意見をいただいて、地域の方と小学校の関わりが深くなって嬉しいというお話をいただきました。

④D 委員

説明を担当させていただきました。

危機感というものは皆さん持っていてくださっていると思います。スクールコミュニティについては、ここは農業地帯なので、地域学習というのは盛んに行われていて、作業を手伝って収穫はリンゴをいただいてくるとか、お世話になった人を招待して五平餅を作るとか、あらゆる学年で自然と農業を経験しているのですが、農業以外の、学校区を越えて商業とか工業とか観光とかを体験することによって好きになってもらいたいと思ったのですが、間違ったことを言うてはいけないと思って、原稿に忠実に説明させていただきました。地域の学習が充実しているというイメージを持たれているので、それ以外を想像できないというか、そこら辺をもうちょっとわかってもらえるように説明が必要だと思いました。

⑤E 委員

智里東を担当しました。参加者7名ということで大変少なく、またそのうち保護者が2名で、他の方は自治会と議員さんたちという、期待していたところとはちょっと違う層が集まっていたかまして、もっと現実的な意見があまり出なくて、自治会の関係者もあまり出てこなかったもので、智里地区はあんまり関心がないのかという印象を持ちました。

ただそこに保護者会で、これからの学びの多様化学校制度にすごく関心がある方が来ていただいて、前向きな意見をいただきました。説明の中にありましたけれど、義務教育学校と小中一貫校の違いとかスクールコミュニティについての質問が出されたので、これをいかに皆さんに周知していくことが大事だと思いました。

⑥F 委員

今言われたとおりですけれども、一つ私が思ったのは、難しい言葉を選んで喋らなくてはならない、それがなかなか伝わらないというのが現状だろうと思いました。もうちょっとかみ砕いたような内容で説明しないと難しいと感じております。

⑦G 委員

智里西を担当しましたGです。

智里西地区の参加者10名ですが、希望としてはもっとたくさんの方にと思っておりましたが、地区の規模的にはこんなところかなという感じです。当日保育園の入園式でしたので、午前中に保護者会の皆さんには直接お話をし各家庭の反応を聞いてみたところ認識がないということだったので、慌てて、地区の災害情報を共有するグループラインに書き込みをさせていただき、参加者を募集したところでした。教育の関係ですが、保護者だけの話ではなくて、様々な世代・立場の方がご意見いただければと発信をしたところ、10名ではありますけども幅広く集まっていただけました。特に、ご結婚されてこれからお子さんをとという方も出席されて意見を出していただけたので、非常に嬉しかったです。

その中で2点ほど報告させていただきます。まず1点目が(3)にありますけれども、まだまだやっぱり私達と住民の方の差がすごくあるというのを感じました。今までのフォーラムとか懇談会で説明の場だとか情報発信をしている人は来てはいるのですが、受け取る側に興味がないと、全くそこにたどり着いてないので、「何のことですか」というところから入ったというのが実際のところでした。当日も懇談会が始まる前に軽くお話をさせていただいた方もおりました。

2点目は、ここに記載がないのですが、終わった後また別の日にいろんな方と話をする中で、「スクールコミュニティという言葉がしっくりこないな」というお話がありまして、当日の説明も活字ばかりで、難しかったというところでした。会話をする中でいただいた意見ですけれども、そう考えると寂しいっていうのは、そこがなくなって一緒になった経過の中で、それでもここまで人口を落とさず横ばいできているというのは、自分たちの自分を縦割りでやっぱり先輩から後輩、いろんな世代の説明の中にあっただようなことを自然とやっていたのではないかと言われました。自分も消防団活動とかいろいろ出る中で、いろんな世界が変わってきたことを感じたところですので、自分のチームの中では、そういう例を出しながら上手に説明を今後していけるのかなというヒントをもらった気がしました。全体的なところとしては、西地区はやっぱり否定的ではないな、というような印象を受けました。

⑧H 委員

今Gさんがおっしゃっていただいたものとほとんど同じですが、同席していただいた教育長さんもおっしゃっていましたが、地域住民の人口に対する参加人数が非常に多く、興味を持っていただいている方が多いという気がし

ました。ここにも書いてありますが、前議員さんがいらっしゃったのですが、それ以外は私と同じ世代の人が2人か3人で、残りが現在子育て中の若いお父さんたちが参加していただいたので非常に良かったと思いました。

自分自身も元々西の人間なので、智里西の自治会とか、組織で協力させてもらっているのですが、まとまりのいい地区で、毎年作業があり、第一小学校に合併してから40年経っている地域ですので、学校が今の地区からなくなるという部分に関しては、そんなに抵抗はない印象があります。それから、特に人間関係が固定化するというご自身の経験で、苦手な先輩がいて、それが中学校に進学というタイミングでちょっとリセットされたということで、その辺もちょっと危惧されているっていう話がありました。それも考え方で、ここに書いてあるように、多様な人間関係が期待できるということでお話をさせていただきました。共通することとしては、言葉の意味というか、なかなかイメージがしにくいので、具体的な例も挙げて説明をしていかないと難しいことを感じました。

否定的な意見はほとんどなかったもので、こういった考え方の説明がこれから大事になってくると感じました。

⑨I 委員

清内路に参加させていただいたIです。

清内路は出席者が自治会の役員の方と保護者が多くて、具体的な内容のご意見とかご要望があり、危機感があると思いました。人数も多かったのですが、コミュニティ・スクールとスクールコミュニティの違いについての質問があったので、理解していただくにはちょっと時間がかかると感じました。

小中一貫校にしていくと、小学校が地区からなくなって、人が出ていってしまうのではないかという危機感があるので、スクールバスやいろんなことを活用することでやってほしいという要望がありました。村が合併した時に中学が無くなったので、多分そういう危機感があったと思いました。

不登校の子が登校できなかつたらどうするのか、その対策はどうしたらよいかという具体的な内容もあったので、そういうことも盛り込んでいった方がよいと思います。会の後から私に直接お話された方は、「中間まとめに難しい内容がいっぱいありすぎて理解できなかつた」というご意見がありました。そういうところも配慮して、簡単というか、簡潔にわかるようにするのがよいと思いました。

⑩J 委員

懇談会の後日、6人集まって話をしました。その中で、統合に関してはすごく敏感に保護者の方が話をしていました。というのも、やっぱりせざるを

得ない現状を理解していて、そのままにしてはいけない、残っていけるのかどうかということも結構難しいという不安な話もありました。

その中で、今清内路は、かなりスクールコミュニティという形に近いことをしているので、地域の人たちと一緒に、学校の授業や学びの場を地域に移してみたいとか、実際今、学校と合わせてやっているようなことがあるので、それがもし一緒になった時に、振り出しに戻ってしまうのか、ここまで地域の人と関わってできているものが崩れてしまうことも不安であるという意見が出ていました。

統合とか、そういう方向性がもしあった中で、学校をなくさないでほしいという強い意見がありました。実際に子どもたちに何を願うか親が一番思っているのは、世界に出て清内路の良さを実感して帰ってきてほしいという話がありました。事業の中で清内路のような学校を作ってほしいという希望の言葉もありました。

他の皆さんもおっしゃっていたのですが、わかりにくい言葉がたくさん出てきて、説明が終わってしまい、何かもう少し効果が見られた形で話をしっかりできることがあるといいなということも感じたので、私の方でこういう小さな話し合いを重ねて、この1年でもう少し掘り下げながら意見を聞いてきてお話ができるとよいと思っています。

⑪K 委員

浪合は、校長先生1人、教頭先生1人で、合併により現在の学校になったのですが、浪合小学校はまだ校舎が新しいから、統合したときはぜひこの校舎を使ってほしいという強い意見がございました。統合するなら阿智なのか浪合なのかと、またスクールバスはどうなるか。浪合小学校だから、浪合というところに魅力を感じて来たという人もたくさんいる中で、統合するとなるとどうなるのか、そういうことを具体的に考えていく必要があるという強力な意見があったと思います。統合するのはいつなのかという質問もありました。

コミュニティ・スクールやスクールコミュニティといった用語が理解できているかどうかはわかりませんが、浪合は小さい地区で、学校との繋がりも結構あります。そういった関係で、地域と学校との連携ということを今は大事にしております。出生数が減っている現状の中で、なかなか難しいかと思いますが、子どもを優先した話し合いを、子どものためになるような答申があればいいのかなと思います。

⑫L 委員

移住されてきた方に、私が学校あり方検討委員になったのでという話をし

たら、お手紙をいただきました。懇談会のときご主人が見えておっしゃることは、浪合だからここへ住むことになったと。統合され他の学校へ通わせるようであれば、ここに住むことを考えると。本音の言葉ですね。この方は4月3日にもお越しいただいて、浪合の通年学習センターの入所式がありまして、毎年通年合宿センターから学校へ行かれるのですが、1年経って、もう帰ってしまう人もいるし、継続して2年、3年という生徒さんもいるのですね。今年は、去年から継続したお子さんが7名おります。それから、新たに来てくださった方が9名。この通年学習センターから学校へ通っている生徒の他に、親子共々親子留学で見えている方もおられます。

現在、センター生と親を入れると26名です。それで浪合の去年の生徒数は32名ですから、浪合の子どもが6人ぐらいしかいない。けれども、来てくれた子どもたちが、楽しかったからもう1年いたいと言ってくれている。センターでは子どもたちが野菜を作ったり、やぎを飼ったり世話をしています。乳を搾っております。それから、親子留学で来てくださっている方たちは、近くで畑を借りて野菜が美味しいからと自ら畑を耕してくれている。わからないことがあるとその地域の野菜を作っている方たちに育て方を教えてもらったりとかして、自分たちが作っていない野菜を、あの近所の人に取り過ぎたからって思ったらすごくそういう素朴な交流があるのですね。浪合地区にはコンビニもスーパーもない。昔は自然しかないっていう言葉を使いましたけど、今は自然があるということを言いたかったのですね。それで、その子どもたちが成人式を迎える頃には、もうリニアが走り始め、それから欲しいものがあれば、タブレットで注文すれば1時間2時間ぐらい持ってきてくれる時代が私は必ず来るのだらうと思います。これから人数が減ってしまうとどうなるのだらうかという不安よりも、もっと明るい未来を考えて、みんなでのびのびと生活できる、そんな地域を作っていけたらいいなというふうに考えております。こういう話が出たときに、もしできるのであれば、阿智村で多分学校の統廃合をするときに一遍にしないで、まだ学校は10年ぐらい耐用年数がありますので、様子を見て、縮小していくとかというようなことをずっと検討の余地ありかなというふうに見ました。

⑬代田副委員長

改めまして副委員長の代田です。3ヶ所出席させていただきました。まず私がいい機会だなと思ったのは、冒頭教育長が申し上げたとおり、この委員の皆さんが当事者意識を持って、決して原稿を棒読みするのではなく、一生懸命自分なりの言葉にして説明し、村の方々と対峙していただいていることがとても印象に残りました。

こういった形で、理想は、委員の皆さんだけでなく、村民の皆さんも

自分事として考えるようになると、とてもいいのかなと思いました。要は教育委員会、村や行政がやる改革ではなくて、村民一人ひとりの改革だということの足がかりの第一歩として、とても貴重な機会だったなと感じています。説明が上手で本当に感心して聞いておりました。

私が一つ思ったのが、前向きな方も非常に多いなということです。そういった意見もあるし、もちろん個別の意見もありましたけれども、できればその人たちの対話を丁寧にする半年間になるのだろうかと思いましたので、これも強調申し上げましたけれども、一つひとつ全て回答していくというスタンスが大事だろうなというふうに改めて思いました。

⑭松澤専門主事

3月28日から4月8日まで各地区での懇談会をありがとうございました。それと並行して、パブリック・コメントを27日から受け付けております。これは4月30日までということですが、昨日までのパブコメに寄せられた意見をそのまま11ページに載せてあります。一つひとつ説明しませんが、それぞれ目を通していただいて、今後の委員会の議論に生かしていただきたいと思います。

⑮委員長

今後の進め方ですが、パワーポイントでも説明させていただいたように、小中一貫の義務教育学校に向けて、それからスクールコミュニティ構想、これから検討していくというようなことは大体ご理解はいただけたらと思うしております。言葉の難しさもあるかもしれませんが、一応これで進めたいと思っています。

その中でまず具体案を詰めていくこととなりますが、年間の予定では小委員会を中心に検討して、全体会議でさらにそれを議論していただきます。これについては特にご異議ございませんか。

議論の中身につきましては、例えば財政面とか教員の配置、それから学校の運営とさらに教育内容や理念のところまでご説明しましたので、小委員会でまずは原案といいますか素案といったものを作ります。スクールコミュニティにつきましては、伏木先生がいらっしゃいますので、アイデアをいただきご指導いただきながら進めます。実現可能な具体が見えにくいというご意見がありますので、できれば、清内路小や第三小も、特に社会教育が熱心なところですので、それぞれの異年齢教育がさらに充実するのではないかなと思っています。そういった中で、なるべくわかりやすい例を挙げながら小委員会で作っていきたいと思っています。

学校と地域の関わり方、これについてはご意見がありまして、特に浪合地

区では子どもを真ん中に子どもを優先するのか地区を優先するのかという厳しい選択を突き詰められたところもありますので、そこを考えていかなければいけないと思っています。ただ学びの多様化学校につきましては、これは文部科学省の制度になりますので、小委員会で具体的に皆さんに見えるようなものを作っていきたいと思いますが、何か足りないものやこの場でこれは盛り込んだ方がいいのではないかとということがありましたらお願いします。

(2) 本年度の年間計画の確認

①松澤専門主事

会議資料13ページからの令和7年度学校のあり方検討委員会推進日程(案)をご覧ください。

「中間まとめ」の周知・理解については、前回の委員会以降の中間まとめの周知と理解について実施してきたことをまとめてあります。

進め方については、前回小委員の増員について承認いただいておりますので、ご確認ください。

委員会の推進日程です。本日の委員会の後、5月6月に小委員会を2回設けます。第3回と第4回の小委員会で、中間まとめでお示しいただいた3点について、学校の具体的あり方となる答申案骨子を取りまとめていただきます。2回の小委員会で検討を深めていただいた答申案骨子を7月の委員会に提案していただき、その後2回の委員会で検討し、9月文書配布に合わせて村民に周知できればと考えました。

答申案骨子について、第2回目の地区懇談会とパブリック・コメントで意見集約していきます。必要によっては10月以降、保護者小中学生からのアンケートの実施も検討し、年内をめどに答申書原案を作成いただきたいと思います。推進の状況によっては1カ月程度の余裕を持っておりますが、2月中には答申書を手交できるように進めていただきたいと思います。

以上年間の推進計画として考えました。それぞれの会議通知は昨年度と同じようにご連絡させていただきますので、よろしくお願いします。

②A 委員

今お伺いした中で何点か質問があるのですが、14ページからの小委員会や委員会を非公開でやるのは、傍聴ができないという意味でいいのですか。これからより具体的な検討に入りますので、非公開という考えはわかります。私個人の意見なのですが、小委員会の非公開というのはいいと思うのですが、7月11日とか8月22日の検討委員会のところも非公開になっています。もう皆さんがその案を知る機会というのは、9月19日頃になるのかなと思うのです。その前にどういう検討をしているかというのを、小委員会のことは

いいのですが、皆さんにお知らせできるような、公の部分で公開して会議録を見た住民が、これはどうなるのという話や意見をいただくと、私達委員がその意見をもらって話ができるのではないかと思います。7月11日と8月22日の会議は会議録として出していただき、傍聴に来ていただくのもいいのかなということをおもいました。

2点目として、パブリック・コメントが9月20日から10月9日までの予定で、地区懇談会の方が9月の下旬から10月の中旬と書いてあるので、今回もそうですけど、中間まとめて同意としたものを見て自分で考えて、自分でパブリック・コメント入れてくださいっていうのも理解ができません。違う部分ももしかしたら出てくるかも知れません。そういった中でこの懇談会で理解して、それに対してパブリック・コメントを出そうと思っても、10月中旬に懇談会をした方たちは、もうパブリック・コメントが締め切られているというような状態になってしまいます。せめて第2回の地区懇談会が終わるまでは、パブリック・コメントは開いておいてくれると住民も出しやすいのではないかと思います。

3点目として、10月10日のところに、保護者にアンケートを実施し、中学生もアンケート実施を検討すると先ほどお話されましたけれども、何のためにとるかという話にもなるのですが、10月10日のところで考えると、もう11月21日には最終答申案を出すということになるので、このアンケートを例えばこの時点で実施したとして、11月21日の最終答申案にその結果なり意見というのが反映されるように、私達が検討する時間というのではないと思うので、もし本当にアンケートを取るのであれば、もうちょっと早めにアンケートをとった方がいいと考えました。もしアンケートもとらないということであれば、やっぱり今回も子育て世代はどうして来なかったのか何とも言えないのですけれども、前回もお話したように、土日とか昼間とかそういうところでこんな対応を開いてくださると、もしかしたら子育て世代の方が来てくれるのかもしれないので、その辺も検討していただければありがたいと思っておりました。

③F 委員

スクールバスは大丈夫ですか、どうするのですか。不登校の子どもも一緒にバスに乗るのですか。そういう発想も意見が出ているということは、それに対して返答を持っていかないと、9月下旬から10月中旬に地区懇談会をやっても全部また同じ意見が出てきます。それは小委員会において非公開の中でその点を決定していただいて、意見が出たものに対して回答を説明できるようにするという方向づけまで決めてもらった方がいいと思っておりますのでよろしくお願いします。

④教育長

私と松澤専門主事、委員長は6地区全部回らせていただいて、それぞれの地域の空気だとか会場の声を聴いております。公開非公開の件ですけれども、要するに傍聴人がおられるということです。より具体的な答申（案）について、委員の皆さんが自由に討議をし、自分の意見を発言していく審議の過程では会議は非公開にせざるを得ないと考えます。公開というと一見好ましいように思えますけれども、例えば、後ろの席にマスコミの方がおられて、発言した内容が翌日の新聞に掲載される、あるいは特定の地区の方がまとまって来られて、会場の後ろで傍聴されるというような雰囲気は好ましいとは言えないと思います。まだ公式な答申を出す段階ではありません。答申（案）を9月から再度地区懇談会で説明させていただいて、そこで村民の皆さんのご意見をお聞きしてさらに話し合いを深めていくわけですので、7月と8月の非公開は、自由な議論をしていただくためには致し方ないと考えております。会議録も同様に考えております。まずは皆さんにフランクな形で発言をしていただく。この段階で会議録が公開されて、誰がどのような発言をされたという情報が拡散されるのは、やはり自由な審議をしていただくには難しいことだろうと思います。

繰り返しになりますけれども、少なくとも9月の段階ではまだ答申（案）ですので、委員会で非公開に審議された原案を「村民の皆さん、いかがですか」と提示して、村民の皆さんから再度ご意見をいただくのは、手順として遅くはないと思います。答申（案）の骨子が村民の皆さんにお示しされた後は、会議録は公開させていただきます。

⑤伏木副委員長

先に行ってしまう前に、今日発言された声を大事にしたいなと思ったので、ちょっとだけお時間をください。

まず地区懇談会、本当にお疲れ様でした。皆さんもおっしゃるように、この委員の皆さんが主催という形で自分の言葉で語られることがとても大事だったと思います。ですから、地区ごとになりましたけど、どうしたらより人数が多くなるか、何か手がかりがあるかなというふうに思います。しかし、人数が多くても少なくても、来られた方の声を大事にするということで問題はないと思いますが、僕はJ委員のように、懇談会とは別にママ友の声を聞くことをさせていただいて、本当に頭が下がります。こういう活動がとても大事で、本音の意見というか、貴重な意見が得られるのだろうなと思います。

これまでのいわゆるスクールコミュニティ的な活動をやっていると、地域の中で意見を持って、それを大事にするという、他の地区もやっていると思

うのですが、その請願をモデルにして、これを広げていきたいと思いますというよ
うな言い方でスクールコミュニティを村全体に広げていく。これはまさにス
クールコミュニティだということをお伝えしたいと思います。それから前回
の議事録でも私の言葉が残っていますが、改めて申し上げますと、簡単に言
ってコミュニティ・スクールは、学校が町に開かれて、学校の活動を地域の
人が応援や参画をしていただくという、学校のためにやっている。でも、そ
れはコミュニティ・スクールですね。スクールコミュニティというのは、学
校を中心に地域全体が繋がるという考え方なのです。教育委員会はビジネス
用というか、前からやっているのですが、ちょっと Chat GPT で今調べてみた
のですが、全国 1718 市町村ある中で今日現在スクールコミュニティに該当
する自治体は 7 つしか出てきていません。0.4%です。だからモデルはみんな
知らないのです。知らないけれどそちらの理念みたいなものがあって、そう
いうものやっつけていこうかという流れなので、阿智村は本当に先頭に立つか
なというように思います。調べたところ、長野県では唯一喬木村が出てきま
す。喬木村の取り組みをどうして AI がスクールコミュニティと判定したのか
手がかりを得ながら、阿智村の参考にもしていいなと思いました。地域の中
での子どもの活動ではなくて、学校を利用して地域のお年寄りから年配の方
まで、みんなが繋がる、そこに学校施設、学校のいろんな材料を利用してい
くという考え方だと思いますので、そのようにもう一度皆さんも私達も含め
て、「みんなで作りましょう」というメッセージになるといいなと思います。

A 委員から出てきたパブコメとその関係は、その通りだと思うので、松澤先
生、日程的にタイトになるかもしれませんが、やっぱり 2 回目の地区懇が終
わってからパブコメの締め切りまではもうちょっと時間を確保したいと私も
思います。それからパブコメという言葉ではなくて、意見募集というのを括
弧書きで付けるとか、何か難しい言葉があると言われているのですから、そ
ういう言葉遣いに気をつけたらいいのではないかなと思います。

それからあの意見の公表は本当にその通りで、地区懇談会でこういう意見
が出た、それからパブコメは文科省でも全部ネットで公開しますが、やっ
ぱり意見を言ってくれた人が、他の人がどういう意見を言っているのか
知りたいし、必要あると思います。だから差し支えがある場合も若干あるか
もしれませんができれば、どちらも含めてあと連携も含めて公開をしてい
くっていいことではないかな。ここは公開でいい。会議は非公開で
いいと思うのですがぜひお願いしたいと思います。

⑥黒柳教育長

前回回答いただいたパブコメは組合回覧いたしました。今回もホームペー
ジにアップしてまいりたいと考えております。

⑦E 委員

先ほど懇談会への要望の中で、参加人数が少ないと言われているのにも関わらず、第1回目と同じ時間帯にあるというのは、いかがなものでしょうか。先ほどもありましたけど、土曜日とか日曜日にやるとか、時間帯をずらすとか、なんかそういう前向きの方法はないか考えています。

⑧松澤専門主事

まだちょっとそこまで具体的に考えはなく、開催期間が限られるので、検討させていただきます。若干全体の流れが遅くなってしまいかもしれません。

⑨E 委員

開始の時間もあるし、こちらからの説明でパソコンの時間を短くすればいいのですが、やっている時間がそもそも1時間なのです。その1時間の中で先ほども言われましたように、お母さんたちが言いたいことがあるのに、1時間という短い間にその会場まで行って、聞いて話をするかという状況にありますからね。1時間しかないものに、よっぽどこれだけはぜひ言いたい、そういう方は先ほどもありましたように何でもいいので出してもらえばいいとは思いますが、せつかく懇談会をやるのに1時間というのはいかがなものか。

⑩伏木副委員長

お母さんたち保護者を対象にするにしても、会社を本当に5時で上がってきて、7時に会議に出てくるというのは結構大変じゃないかなと思うのですが、お母さんたちに聞いていただいたら増えるかな。ちゃんとあるのですけど信濃町のときは公民館でもやりましたし、保育園でもやりました。時間帯はどうであれ、お子さんの保育園が終わる時間にスタートしました。お迎えに来てもらう時間についてはちょっとお待たせして、公民館では確か夜だったと思います。

⑪L 委員

浪合の保護者の方で、まだ保育園に2人子どもがいる、すごく関心がある方ですが、子供を預かってくれるということで、この時間に参加していただけます。毎日だと大変ですけども、年に1回ぐらいはですね、いろいろ工夫すれば、かえって土曜日とか日曜日の方は仕事がないときもあるのですけど、具体的に何時が地区の人たちがいいのかというようなことで、そういう時間でいいと思うのですけれども、みんな一人ひとり家庭の環境も違いますので、

早めに連絡をしておけば、自分の立場でどういうふうにしたらいいかという準備もできますので、私は今のやり方でいいのではないかなと思います。

⑫C 委員

子育て世代はほぼ来られないのは当たり前かなと思います。7時から8時の一番忙しい時に子どもを置いてこなければいけないので、智里西地区はさっきの話を聞く限り、お父さんが多かったと思います。もちろんお父さんの意見も聞かなきゃいけないけど、本当はお母さんの声も聞けたらよかったと思います。お父さんは家で待っていて、お母さんが出てきてもよかったけど、やっぱりお父さんが出てくるという時間帯なのかもしれないので、これはこれでいいと思います。こういう地区のやり方はいいのですが、これに加えて、回数が限られてしまうのだったら、地区ごとというよりは、この時間帯で、どこでも好きなところへ参加できればと思います。

アンケートをみんなに取って参加をしなくても、家のスマホで意見を答えられるというやり方の方が、もしかしたら意見をもらう率は高いと思うし、やっぱり1時間しかないし、30分ぐらい委員の方で説明したりするので、実際に住民の方からご意見いただくのが30分ぐらいしかなく、言いたくても言えないと思います。最後の方になると、「そろそろ時間になってしまいました。最後にこれだけは言いたいという人は」というように言われるともう言えない。終わらなきゃいけないからもう言いたくても言えなかったという人もいたので、やっぱり1時間というのは、たくさんいると少なく感じてしまうかもしれないですね。

20分ぐらいオーバーしましたね。最後まで聞いてくださってのオーバーですから、遅くなりましたってやりました。意見があれば切るってことじゃないので、確かに30分ちょっと延長したと思うのですが、場所が大丈夫なのか難しいかもしれないですが、その場で意見をもらうという、そういう対面式のものはもちろんあるのですが、発表したところを見られるようにする方法があれば、その動画を見て、勉強会というか、講義というか説明会といえ、地区ごとにいろいろ知っている人が喋り、いろんな発表したものを自宅の携帯で見られるような形もありなのかな。

保育園の協力を得られればですが、お帰りの時間がそれぞれ違ったりはしますけど、保育園に預かっていただいている時間を使って場所とかを工夫できればいい。若い世代になればなるほど忙しいし、みんな働いてもいるし、なかなか手が回らないとは思っているので、これからの学校の保護者たちにかかわってもらうのはすごく大事だと思うので、何かいい方法があるのではないかなと思っています。

⑬F 委員

9月10月というPTA作業もあると思うのです。そのときの1時間とか2時間を、作業が終わった後に説明会をすとかすれば、保護者と話ができるのではないだろうかと思えます。作業であれば一般の人も土曜が多いじゃないですか。そこに一般の人も懇談会をやりますからとってお声を出して集める。9月18日の運動会など、早めにスケジュールを決めて、もう住民にこの日にやりますと言えば、そこに都合をつけてくれるのではないですか。

⑭M 委員

例えば来月のここでやるから集まるのは大変だけど、半年先のことでしょう。今から出して9月とか10月のこの日にやりますと、ぜひ集まってくださいという方向で考えてもいいのかと思えます。時間は、僕はここに合わせてやりたい時間にやってもらっていいと思うのですけれど、1ヶ月だったら多分スケジュール調整が大変ですけど、半年先ですからその都合はつけられると勝手に思っています。皆さんの都合聞いていたら大変です。時代も時代なので、配信をして意見はちゃんと受ければいと。いろんなやり方があると思うので、検討されてスケジュールだけ決めて、オフィシャルにしたらどうですか。

⑮J 委員

働きに出ている人が多いので、時間的に済むのであれば適切かなとは思いますが。ただお知らせの周知の仕方によっては、興味関心があるかどうかずっと話題にしてきているということもあって、実際保護者の反応を見ている、参加した日等を見てみると、普段からやっぱり意見を持っていたので、この説明会にあたって、参観日の日に私の方で説明会がありますけどもそれプラスPTA総会のタイミングでもう一度同じということは伝えてあったのです。より意見を出しやすいのは、説明会などで保護者の意見がかなり大事なので、ぜひ全体のとくに見てもらって、それを聞いた方が今回来てくれたということもあったので、事前にどれだけお知らせするかということもある。実際、動画という方法もあるし、どんな形であれ、興味がある人ではないと説明会だから難しいかなと。その辺の事前の段取りを学校がしっかりすれば、出てもらえる方もいるだろうし、それで補えない部分はこっちから行くしかないかなと。私も個人的に意見を聞くことなので、家庭の都合ということもあると思うので、一概にこの時間がいいとは言えません。

⑯黒柳教育長

一応、阿智村では7時からの会議が定着しているので、7時から8時でピタ

ッと終わるのではなく、状況によっては柔軟に8時半ぐらいまで延長になるという趣旨の文言を、事前の案内に記載しておく必要があると思います。

PTA 総会は年に1回しかないものですから、そこに合わせて説明に行っているのですが、別途保護者の声を聞きやすい機会があれば検討させていただきます。

それから土日開催ですが、例えば中央公民館ホールで全体集会を一度くらい開催するのも良いと思います。ただ、村政懇談会も年に2回開催していますが、出席いただける人は自治会の役員の方が中心です。昨年度は働くお父さんお母さん方のために土曜日開催を企画しましたが、実際出席いただいた方は3人だったという現実もあります。ご意見を伺いましたので、土日開催も視野に入れて検討させていただきます。

M委員がいわれた周知の仕方についても工夫させていただきます。

⑰委員長

ありがとうございました。

委員会や小委員会の公開非公開は、先ほど審議いただいたので、推進計画どおりよろしくをお願いします。このあと小委員の人は残っていただいて、別室で具体的な執筆といいますか、原案の作成について打ち合わせをしたいと思います。

5 協議のまとめ（伏木副委員長）

皆様お疲れ様でした。

本日はまず教育長さんのご挨拶にもありましたが、教育長さんから3つお話がありました。地区懇談会の概要報告では、委員の皆さんが主催して説明して下さったことが良かったというご報告と、それからパブリック・コメントを大事にしたいということであったと思います。そして三つ目に答申に対する教育委員会の方針を説明されましたが、より明確に具体的な答申を出してほしいというようなお話がありました。

その後委員長さんからもご挨拶があり、そして協議に入りました。

まず地区懇談会それぞれの報告があり、参加人数のことや中身のことや大変貴重なご意見をいただきました。その後、周辺の方からコメントが寄せられて、とにかく委員の皆さんから当事者意識を持って自分の言葉で説明された。大変だったという感想をいただきました。

その後、今後の委員会の検討内容ということが、事務局の方から説明があり、そして本年度の年間計画について確認ということで、小委員会が10名に増員した上で今後進めますというお知らせをされました。会議の公開非公開もありましたけれども、教育長の方針に基づいているいろんなことがあるので、もちろん公開の

場は設けるというご説明でした。

それからパブリック・コメントは柔らかい言葉でね、ぜひ意見募集みたいな性格にしてほしいですけども、このことは2回目の地区懇談会を終えてから締め切られるように何とか調整していただきたいという意見があったと思います。

地域懇談会の開催の時刻とかについても大変活発なご意見いただきました。いろいろなことを反映した上で、夜7時から1時間伸びる場合もあるけれどもということ、前もってアナウンスをしますという方針だそうです。

またパブリック・コメントや懇談会でどんな意見が出たかは公表していただくというご説明だと思います。事前に何らかの情報があるといいですね。大変重要で難しいと思うのですが、事前に YouTube で録画してアップしておくとか、時代に対応した最先端のことができるといいですね。

個人的には、須坂でこういう検討会をやったときに、小学校4年生以上中学3年生までが、こういう会議で意見を言う場が大変良かったです。例えばですけど、中学の生徒会役員と各小学校の児童会の役員、他には委員長教育長とか、座談会形式で質疑応答しているのを YouTube 動画で事前に流すとか、一般の人が見えてくるとちょっといいですよ。中学生とか大人がね、最先端のことができるいいなと思います。余計なことを申し上げました。お願いします。

6 連絡

第3回の小委員会を、5月9日金曜日、コミュニティ館二階のホールで行います。それについて小委員の皆様はこの後打ち合わせをしますので、教育委員会の方でお願いします。

日程のところには入れてありませんでしたが、小学校中学校の授業の様子を見ていただきたいということで、参観いただけるようなことも考えていきたいと思っています。授業参観と学校の先生方との懇談をしていただけるような場を考えています。6月13日か7月11日に委員会がありますので、これの前に設定をしたいと思っています。また決まりましたらお知らせします。

(1) 次回の予定

第3回小委員会（非公開）

令和7年5月9日(金) 午後4時から午後6時 コミュニティ館2階ホール

第4回小委員会（非公開）

令和7年6月13日(金) 午後4時から午後6時 コミュニティ館2階ホール

第8回委員会（非公開）

令和7年7月11日(金) 午後4時から午後6時 コミュニティ館2階ホール

7 閉会の言葉（教育次長）

（閉会 午後5時48分）

教育長・委員長 署名／捺印